

【 提 言 書 】

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

令和4年12月2日

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

さぬき市まち・ひと・しごと創生本部

本部長 大 山 茂 樹 殿

第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議では、さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間（平成27年度から令和元年度）の満了を受けて、令和2年度より実施されている第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げた重要業績評価指標（以下「KPI」という。）の令和6年度の達成等に向け、関係部局に対する総合戦略の進捗状況調査の結果等について協議を行いました。

つきましては、当有識者会議における協議結果等を、次の意見を付して報告します。

貴職におかれましては、意見内容を踏まえた総合戦略の実施に努められるよう希望します。

さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議

座 長 長 山 貴 之

1 総括意見

(1) 本年度の改訂に向けて

48項目のKPIの実績値等を検証した結果、本年度における重大かつ大幅な改訂要素はないように思われる。

ただし、KPIについて令和3年度実績値が既に令和6年度目標値を達成している指標について、特段の理由がない限りは、適宜、上方修正すること。

また、新しい視点で追加したい具体的施策や取組がある場合は、積極的に追加すること。

(2) 令和5年度に向けて

さぬき市の人口減少は底を打っていない。住民基本台帳人口は、平成22年の53,865人から平成27年の51,526人へと4.3%減少し、令和2年には47,310人までさらに8.2%減少している。この急激な人口減少への対応こそが、さぬき市の喫緊の課題であり、総合戦略の目的も、この人口減少とそれに伴う社会構造の変化に対応することにある。

基本目標を達成することは、長く困難な道程であり、一朝一夕に達成できるとは思われない。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に引き続き令和3年度についても実績が思うように達成できなかった指標もあるが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられず、状況に応じた施策や指標等の見直しは適宜必要であり、地域産業の支援、まちづくり寄附の戦略的取組、及びDX化への対応を推進していくことが必要である。今後の社会情勢等に関しては未だ不透明であるが、ワーク・ライフ・バランスの推進や防災支援など、市民の生活満足度の向上の実現に向けた取組が滞りなく進むことも重要である。本市の人口減少の現状に鑑みると、一刻の猶予も許されないことは事実であり、官民連携等を一層強化し、現状の課題に危機感を持って取り組むとともに、地方創生の実現に向けて更なる奮起を期待する。

2 基本目標別個別意見

基本目標1 「誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる」

○具体的な施策「関係機関と連携した創業支援の充実」

K P I 「創業支援事業計画に基づく創業件数」関係

- ・創業に関しては、偶然の要素や景気変動によるところもあるが、創業を支援するにあたっては、現状に合わせた軌道修正や状況を見極めたうえでの有効策や代替策などについて、適宜検討されることを期待する。

○具体的な施策「地域産業を支える若手経営者や技術者などの育成支援」

K P I 「人材育成取組企業数（累計）」関係

- ・後継者不足については、関係機関とも連携し、事業所が増えないなら減らさないという観点やどのように継続していくかといった多角的視点を持って対応策を検討されることを期待する。

基本目標2 「さぬき市への人の流れをつくる」

○具体的な施策「まちづくり寄附（ふるさと納税）の推進」

K P I 「まちづくり寄附額」関係

- ・寄附者の共感が得られる事業には寄附が集まっている事例もあり、市民が実現してほしい事業でありながら寄附者からも応援したいと思える事業の選定が重要であるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税の実施により寄附者が具体的事業の中から取組の趣旨に賛同していただける事業に寄附ができるよう戦略的な取組を期待する。
- ・ふるさと納税の使い道については、優先すべき事業の選定や寄附の有益な使い方について十分に検討し、寄附者の意向が最大限に反映されることを期待する。

基本目標3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

○具体的な施策「放課後の居場所づくりの推進」

K P I 「年間登録児童数（放課後児童クラブ）」関係

- ・放課後児童クラブの受入学年が次年度より5、6年生までに拡充されることは大いに評価できる。今後は受入学年拡充に伴う指導員の確保や資質の向上、処遇改善とともに、利用する子どもたちが安心して過ごせるよう受入施設の整備や充実などについても一層推進されることを期待する。

○具体的な施策「ワーク・ライフ・バランスの推進」

K P I 「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市内企業への啓発数」関係

- ・ワーク・ライフ・バランス実現のため、働きやすい職場環境の提供や男女共同参画の推進についても、引き続き啓発推進されることを期待する。

○具体的な施策「事業所等における女性活躍推進の支援」

K P I 「女性活躍推進に向けた市内企業への啓発数」関係

- ・共働きが推奨されているなか、女性だけでなく男性育休率の向上についても一層の推進を期待する。

基本目標4 「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」

○具体的な施策「周産期医療の充実」

K P I 「分べん件数・紹介件数」関係

- ・産婦人科医師1人体制は十分ではないが、市内での出産場所を確保するため、現状維持できることを期待する。

○具体的な施策「目的に応じて選択できる公共交通の推進」

K P I 「公共交通網の充実に対する市民満足度」関係

- ・コミュニティバスの運行については、コミュニティバスを利用せざるを得ない対象者を絞り込むなど、議論継続の必要があるとともに、買物弱者への対策として、日常生活に対する支援措置を強化するなど、視点を変えた対策についても幅広く検討されることを期待する。

○具体的な施策「自主防災組織の訓練支援」

K P I 「広域化自主防災組織訓練等実施回数」関係

- ・女性や弱者の視点を取り入れた防災対策や避難所運営を検討していくとともに、自助・共助・公助のうちの「共助」の啓蒙についても一層推進されることを期待する。

3 さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P I 達成状況調査結果

別冊のとおりとする。

4 協議経過

○令和4年度第1回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：令和4年6月28日（火）

議 事：（1）第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略K P I 達成状況について
（2）今後のスケジュールについて

○令和4年度第2回まち・ひと・しごと創生有識者会議

開催日：令和4年10月24日（月）

議 事：（1）提言書「さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて」案について

5 さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

| | 氏名 | 所属等 |
|-----|--------|----------------------------|
| 座長 | 長山 貴之 | 香川大学経済学部教授 学部長（学校） |
| 副座長 | 尾崎 勝 | さぬき市商工会 会長（産業） |
| | 井出 哲夫 | 自治労香川県本部特別執行役員（労働） |
| | 大塚 ノブ子 | さぬき市農業委員会 委員（産業） |
| | 金江 ちひろ | 元東讃地域農ガール代表（地域） |
| | 小池 よう子 | 食農ライター（言論） |
| | 長谷 真里 | 長谷ぶどう園 代表（地域） |
| | 山崎 和彦 | 百十四銀行株式会社志度支店兼津田支店 支店長（金融） |

50音順（座長・副座長除く）、敬称略